

## ＜ベーシックス レベル2＞

講師：高橋 悦

はじめに、レベル2までは〔ピアノ〕〔テクニック〕〔パフォーマンス〕〔セオリー〕の4冊と一緒に使用する事が望ましいというお話でした。

レベル1では、それまでに学習したことを復習しながら確認してきました。  
その上でレベル2に進みます。

レベル2での学習内容は大きく分けると2つです。

- 〔・長音階のしくみ→調〕
- 〔・和音進行のしくみ〕

レベル1で少し触れた二部形式に加えて三部形式も学習します。

スラー、スタカートなど既に学習してきた事を、自分の力で見る習慣をつけます。

- ・長音階・・・全音、半音を含めて、長音階のしくみを理解し、実際に指もスムーズに動く様に指導します。

- ・和音・・・楽譜で『和音』を見て、手を見ないで手の形をつくれる様にします。

『目は楽譜→脳→手』（目で見て反応）これを瞬時にできる様にします。

＜C・G・F・D・A・Eの調の音階と和音進行＞」を学習します。

- ・＃のつく順番

- ・〔テクニック〕や〔セオリー〕にのみ出てくる内容もあります。

「主要三和音は家族の和音」など具体的な例を出して、学習者にわかりやすく親しみやすい表現で伝えるヒントもいただきました。

レベル2では、音楽のしくみについて学習する事が多く出てきます。

ピアノを演奏するにあたって、その必要性を感じさせて、いかに興味を持たせるかということが大切だと思いました。

次回はレベル3へ進みます。短音階の登場です。